

◆「1年の経は元旦にあり」 新たな気持ちで学校生活を始めましょう

生徒の皆さん、保護者、地域の皆様、明けましておめでとうございます。本年も平野中学校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、新年を迎えて生徒の皆さんは今年の目標を立てたでしょうか。今年は「辰年」です。諸説ありますが、辰年には「これからの成長を形作る年であり、努力すれば実りやすくなる年」「力が溢れ、活気づく年」という意味があるそうです。このような年になるよう、ぜひ1年間の目標を立ててください。

そして、本日1月9日（火）から3学期の生活がスタートしました。2学期末の終業式で、「3学期は『凡事徹底』の『時を守る』を全員で達成しましょう」と話をしました。1・2学期の学校生活をとおして、朝の登校時間に遅れたり、部活動の完全下校が守れていなかったりといった「時間」に対する意識が課題であると考えたからです。3学期の生活を通して『時を守る』ことができるようになれば、「自己指導能力」の更なる育成につながっていくと思います。ご家庭におかれましても、朝の登校時間のご指導をどうぞよろしくお願いいたします。

◆ 第45期生徒会リーダー研修会 より良い学校を目指して頑張ります！

12月21日（木）、25日（月）に第45期の新生徒会の皆さんが令和6年度の生徒会スローガンや委員会の活動計画等を話し合うリーダー研修会を行いました。

スローガンを決める話し合いでは、全校生徒にとったアンケートをもとに令和6年度の方向性を探っていきました。まず、アンケートから今の平野中学校の良さや課題を出し、キーワード化していきました。それらをもとに、どのようなスローガンが良いか話し合っていました。新生徒会の皆さんは熱心に審議を行い、さらに一歩前進した新しい平野中をつくりたいという熱い思いが伝わる研修会となりました。また、後半はそれぞれの委員会の年間計画を先生たちと熱心に打ち合わせていました。3月の生徒総会に向けて、このリーダー研修会をきっかけに準備を進めていきます。1・2年生の皆さんも生徒会の一員として、真剣に審議に臨んでほしいと思います。



◆ 祝 福岡県公立学校優秀教員受賞！ 高木先生おめでとうございます

子どもたちの頑張りを見たり、聞いたりすることはとても嬉しいことですが、先生たちの頑張りをお知らせできることも嬉しいものです。

本校主幹教諭の高木慎太郎先生が、福岡県公立学校優秀教員に選ばれ、12月26日（火）に福岡県庁で授賞式が行われました。福岡県公立学校優秀教員とは、日々の授業や生徒指導等に優れた能力を発揮し、学校運営等に大きな成果を上げている教職員が選ばれます。高木先生は日頃から子どもたちのことを大切に思い、人一倍熱心に教育活動に励んでくれています。その努力が優秀であると認められ、今回の表彰につながったと思います。表彰式では県内約30名の優秀教員を代表して、賞状を受け取りました。高木先生おめでとうございます。これからも本校の子どもたちのために頑張ってください。



◆ 石川県能登半島地震から9日 一日も早い復興を願っています

1月1日(日)16時10分頃、石川県能登半島付近で震度7の大地震が発生しました。この地震により多くの方々の命が失われ、また、多くの方々が現在もまだ行方不明の状態が続いています。亡くなられた方々にお悔やみ申し上げるとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。そして、一日も早い復興を願うばかりです。

保護者や地域の皆様の記憶には残っているかと思いますが、1995年1月17日(火)に兵庫県の淡路島北部沖の明石海峡を震源として、マグニチュード7.3の大地震が発生しました。特に震源に近い神戸市の市街地の被害は甚大で、犠牲者は6434人にも達しました。第二次世界大戦後に発生した自然災害では、東日本大震災が発生するまでは最悪のものでした。

私がある学校で勤務していたときに、この阪神淡路大震災で被災した生徒が転校してきました。その年の冬に雪が降り、学校の水が凍ってトイレの水が流れなかったことがありました。その日は全員がちょっとしたパニックに陥りました。その数日後、生徒が生活ノート(やりとり帳)にその日の思いを書いてくれました。

1月17日、5時46分。震度7(世界最高)が阪神を襲いました。私は当時小2でした。あの時の生活は忘れない。忘れられないと思う。ガスは止まり、水は出ずに、給水車から水をもらうために、1日3回、家との往復をしました。地盤はゆるみ、地面は割れ、めくり上がりました。学校も階段が傾きました。学校の床にビー玉を置くと片方に転がっていきました。あの時はずっと泣いていました。

私は震災後すぐ神戸に行きました。私は恐ろしくてずっと泣いていたのを覚えています。友達の中には、物が落ちてケガをした人もいました。私の家でも和ダンスが部屋のはしっこからドアまでふっとび、ここに寝ていたら死んでいたかも・・・という事態がありました。今でも震度1ぐらいのみんなが気づかないような揺れでも、すぐ気づきます。水やガスにも本当に苦労しました。お風呂には入れないので、大阪の方まで入りに行きました。水が出た時、すごくうれしくてとびあがりました。

先日の雪の日、トイレが使えなくなったとき、バケツで水を流さなければなりませんでした。私は震災の時、そうやって生活しました。水が出なかったからそうするしかなかったからでした。

あの震災の中では、そんな生活がずっと続きました。そんな生活もあったということを、先日の経験から想像してほしいと思います。

みんな6年もたつと忘れてしまいます。しかし、それは私よりももっと大きな被害にあわれた人たちに失礼なことだと思っています。確かに地震は1度経験しないと、恐ろしさは分からないと思います。でも、私はみんなに覚えていてほしいのです。

1月17日は、私にとって一生忘れられない日になると思います。

2001. 1. 17

29年前に起こった阪神淡路大震災ですが、私はこの生徒をとおして今でも強く心に残っています。今、能登半島地震で被災された方々がどのような生活を送られているのかは、私たちの想像をはるかに超えたものであるに違いありません。私たちにできることは限られているのかもしれませんが、少しでも何かできることはないか考えることが大切なことだと思います。

悲しみや恐怖が、明るさや暖かさによってうち消されていくような和らぎ方であれば、被災地の方々にとっても「復興」と言えるのかも知れませんが、時間の経過による忘却であってはならないと思っています。そのためにも、わたしたち大人は、このような出来事をきちんと次の世代に伝えていかなければならないと思います。

< 1月の主な行事 >

9日(火) 始業式(ランチ・牛乳なし パン販売あり) 生徒会リーダー研	20日(土) 新入生説明会 登校日 部活動完全休養日
10日(水) 課題テスト 部活動完全休養日	22日(月) 振替休日
11日(木) 3年生パラマ入試(～12日)	24日(水) 3年生特色化選抜入試 部活動完全休養日
15日(月) 学習ST強化週間(～19日)	26日(金) CS活動推進委員会
17日(水) HBCあいさつ運動 専門委員会 部活動完全休養日	

